



「Catch Ball キャッチボール」

～地域に開かれた農場を目指して～

住 所 : 〒014-0054 大仙市大曲金谷町 26 - 9
 電話番号 : 0187-63-2257・Fax 0187-62-3434(大嶋農場・Fax 兼用 0187-68-2381)
 U R L : <http://www.daino-h.akita-pref.ed.jp>
 *農場便りに関するお問い合わせ農場経営部までご連絡下さい。

農場長(高橋寿徳先生)より

「温かく思える家族経営の姿」

我が国の農業経営は古くから家族経営が主体であった。昨今、日本の農業情勢の変化が著しく、集落営農や農業法人における企業的経営も多くなってきた。

今、地域のあちこちで用水路の「せせらぎ」やトラクタ、田植え機の「快音」が鳴り響く。そんな中、家族総出で田植え作業に汗する家族の姿が目にとまる。お父さんが田植え機を操作し、お母さんが苗を差し出し、子供はだし箱(育苗箱)洗い、爺ちゃん、婆ちゃんは田んぼを均す。一日の作業が終わった後の晩御飯にはどんな会話が飛び交うだろうか。想像がつく。実に温かく思える。

本校の田植えも真っ盛り。そしてこの一か月、各部門でさまざまな変化が見られ生徒一人一人が協力し合い生き物を相手に一生懸命に手をかけている姿を目にする。「大農という一つの家族」一致団結し農業実習はもとより、勉強、部活動、農業クラブ活動と頑張っていきましょう。そして、春作業の労をねぎらう「早苗振り」(6・18)を楽しみにしたいものです。

水田部門

(担当者: 藤井亨先生、高橋寿徳先生、佐々木尚人先生、黒田一久先生)

今年はおきたこまち、ゆめおぼこ、ひとめぼれ、きぬのはだ(もち米)に加え、特別栽培米「大曲花火米」のおきたこまちが2年目の作付です。
 5月20日より田植えが本格的に始まりました。管理を頑張っ、秋にはおいしい大農米をいただきたいものです!

小家畜部門

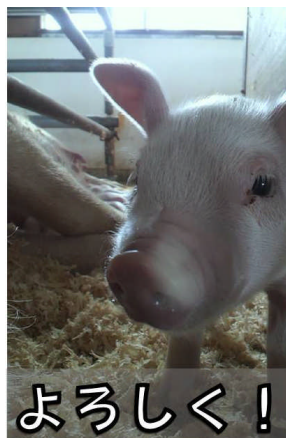
(担当者: 田口健一先生、佐藤晴輝先生)

3月に導入したニワトリも卵が大きくなり、サイズがそろってきました。1学期中間考査も終わり、機会を作って販売実習を行いますので、その際はよろしくお願ひします。なお、農業科学館におきましても週末を中心に卵を販売しておりますので、そちらもよろしくお願ひします。

中家畜部門

(担当者: 守屋拓先生、小林和成先生)

5月10日に9頭の子ブタが生まれました(内1頭死産)。8頭はすくすく育っています。皆さんに見てもらいたいのですが現在、PED(豚流行性下痢)の影響で豚舎内立入禁止になっています、終息するまで今しばらくお待ちください、ご協力よろしくお願ひします。また、昨年11月に生まれたブタの内9頭を15日出荷しました。残りの2頭は早苗振用ですのもうしばらく肥育します。



果樹部門

(担当者: 佐々木孝之先生、佐藤農先生)

今年の豪雪で昨年同様に果樹の開花時期が大幅に遅れるのか、と心配していましたが、桜の開花が平年並みだったように、モモ、ナシ、リンゴの順番に開花しました。

豪雪による枝折れで、樹へのダメージが心配されますが、適期作業を心がけ美味しい果実が採れるよう管理していきたいと思ひます。



大家畜部門

(担当者: 佐々木惇先生、佐藤晴輝先生)

子牛が生まれました。
 5月7日生 大農茂
 5月22日生 だいのうみさき

元気に育ちますよう、応援してください。

食品加工 部門 (担当者：伊藤寿人先生、三嶋登忍先生)

ジャムは最古の保存食！?

スペインの洞窟で、今から1万～1万5千値年前の旧石器時代後期に、人類がミツバチの巣から蜜をとっている風景と、果実を土器で煮ているようすをあらわした壁画が発見されています。果実を蜂蜜で煮たものと想像されています。ジャムは有史以前から人類に利用されており、最古の保存食と推定されています。

今年は大雪でした。新緑の清々しい季節、美味しいジャムで、元気を出したいものです。今年度もイチゴ・ブドウ・ブルーベリー・リンゴ・キウイ・マーマレードのジャムを製造します。

昨年10月5日・6日の第8回「食の国あきた」県民フェスティバルでバリトン伊藤さんと桜庭みさおさんに本校のジャムを試食して頂き、最高に美味しいとお褒めの言葉をいただきました。佐竹敬久秋田県知事さんもその様子をご覧になりました。また、全農秋田ミスフレッシュの齋藤詩織さんも本校で食品製造・食品化学を学習なさった先輩ということで応援を頂きました。



(バリトン伊藤さん)



(桜庭みさおさん)



(佐竹敬久秋田県知事)



(全農秋田ミスフレッシュさん)

野菜 部門 (担当者：古戸毅先生、小松万里子先生、富樫久雄先生)

キュウリのかわいい花が咲いています。よく見ると小さなキュウリの赤ちゃんも育っています。この新聞が出る頃には最初のキュウリが収穫できていると思います。今年校舎建て替えの関係で野菜温室が解体、移転したため、暖房設備のないところでのキュウリの育苗となりました。富樫先生がとても御難儀なさってやっとここまで育ちました。機会があったら見に来てください。



花卉 部門 (担当者：和泉有紗先生、山代和也先生)

温室では花壇用の草花を栽培中です。ペゴニア・メランポジウム・マリーゴールド・サルビア・ニチソウの苗たちが6月の出荷へ向けて、すくすくと育っています。



生育途中の苗を少しご紹介します。写真左から、ペゴニア、メランポジウム、サルビアです。

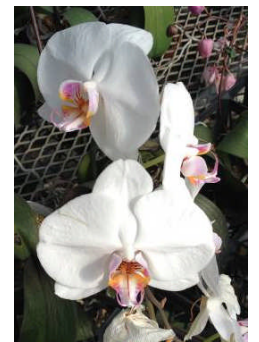
生徒たちの販売実習も随時行う予定です。この機会に、大農の花壇苗でガーデニングを楽しんでみてはいかがでしょうか？

生物工学 部門 (照井豊和先生、平塚祥広先生、大沼克彦先生、佐藤潤之介先生)

温室内のコチョウランが見ごろを迎え、甘い香りが漂ったこの季節も徐々に終わりを迎えつつあります。

現在は事務室前に大型のコチョウランを展示してあります。温室では大型のカトレアが甘い香りを漂わせていますので興味のある方はご覧ください。

写真は今年も見事に咲いてくれた「ダイノードリーム」です。



林業 部門 (担当者：照内之尋先生、三浦薫先生、守屋拓先生)

キノコ栽培の原木に適した樹種は、広葉樹のコナラやクヌギ、クリなどです。

本校にも新たに原木がきました。先日、ドリルで縦軸方向に直角に穴をあけ、種駒を打ち込む準備をしました。外では林産加工実習室の解体も進み少し寂しい気持ちです。